

～ 人生を全うする食をつくる ～

## 井門裕彦さん（今治市（朝倉村））

[所属・役職等]

中郷農園代表

1965 年生まれ

J Aおちいまばり運営委員

今治市倫理法人会 モーニングセミナー副委員長



### ☆経営概況☆

（経営規模、栽培品目、労働力等）

ミニトマト 52a、労働力は本人、両親の3人とパート従業員を3人雇用

### ☆ここがポイント☆

（特徴的な経営や栽培方法、就農の経緯等）

大学卒業後 23 歳で就農し、イチゴ 30a、メロン 10a を栽培していました。途中でメロンをやめ 40 歳の時にイチゴ栽培からも手を引きました。理由は労力と収益の関係からです。その後、ミニトマトを導入しました。現在は遮光、細霧設備の導入と換気による細やかな栽培管理により周年栽培を行っています。

### ■手をかけた分だけ美味しさがある。

まずは美味しくなくてはならないと考えています。食べ物の効能には免疫強化、抗酸化作用、栄養化等があり、「人が健康になれるものを作る。」をコンセプトにしています。

このため、土づくりにはお金と時間をかけています。15 年前までは化学肥料により栽培をしていましたが、父親が有機栽培を実践していたこともあり有機質資材による土づくりと肥培管理を行っています。元肥には EM ボカシを使用し、油かす、カニガラ、米ぬか、アルギット等を配合した自家製の肥料で栽培しています。このような方法により土壌微生物の環境を改善し、栄養豊富で美味しいミニトマトの生産を目指しています。

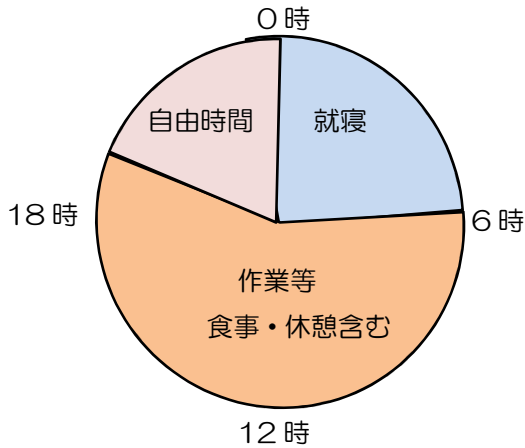


選果風景



食の安全を守るため気門封鎖型薬剤を散布

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

栽培・書・倫理を追求

書道は小学生から教室に通い、44年間続けている。今治市に本部を置く書神会の成家として役職についており、現在でも月2回通い展覧会にも積極的に応募している。自らも書道教室を主宰し月6回程度自宅で教えている。毛筆は筆力、線の強さが重要。そのためにも日頃の鍛錬は欠かすことができない。

また、今治市倫理法人会に所属し、異業種の人達とも交流を深め、セミナーを通じ経営者として人格を高めるべく自己革新を図っている。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
書道						休日

栽培管理・出荷調整



1日の作業を終えて



作品 「堅忍不拔」

☆これからの夢や目指すもの☆

トマトと書で感動を伝えたい！

ミニトマトは本物を目指し、皆が健康で人生を全うできるよう食を通して応援したい。書はこれからも道を究め、感動を与える字を書きたい。

☆メッセージ☆

本気でやるならあきらめず意志を貫こう。「堅忍不拔」の精神。成功している人のところへ入り栽培技術や経営感覚を学ぶと良い。起業する時は綿密な計画を立て資金を借り、長いスパンで返済計画。金利はかかっても無理な返済はやめよう。